

高潮ハザードマップ

凡例

3

国道

288

県道

高潮浸水想定

浸水深区分

5m以上～10m未満

3m以上～5m未満

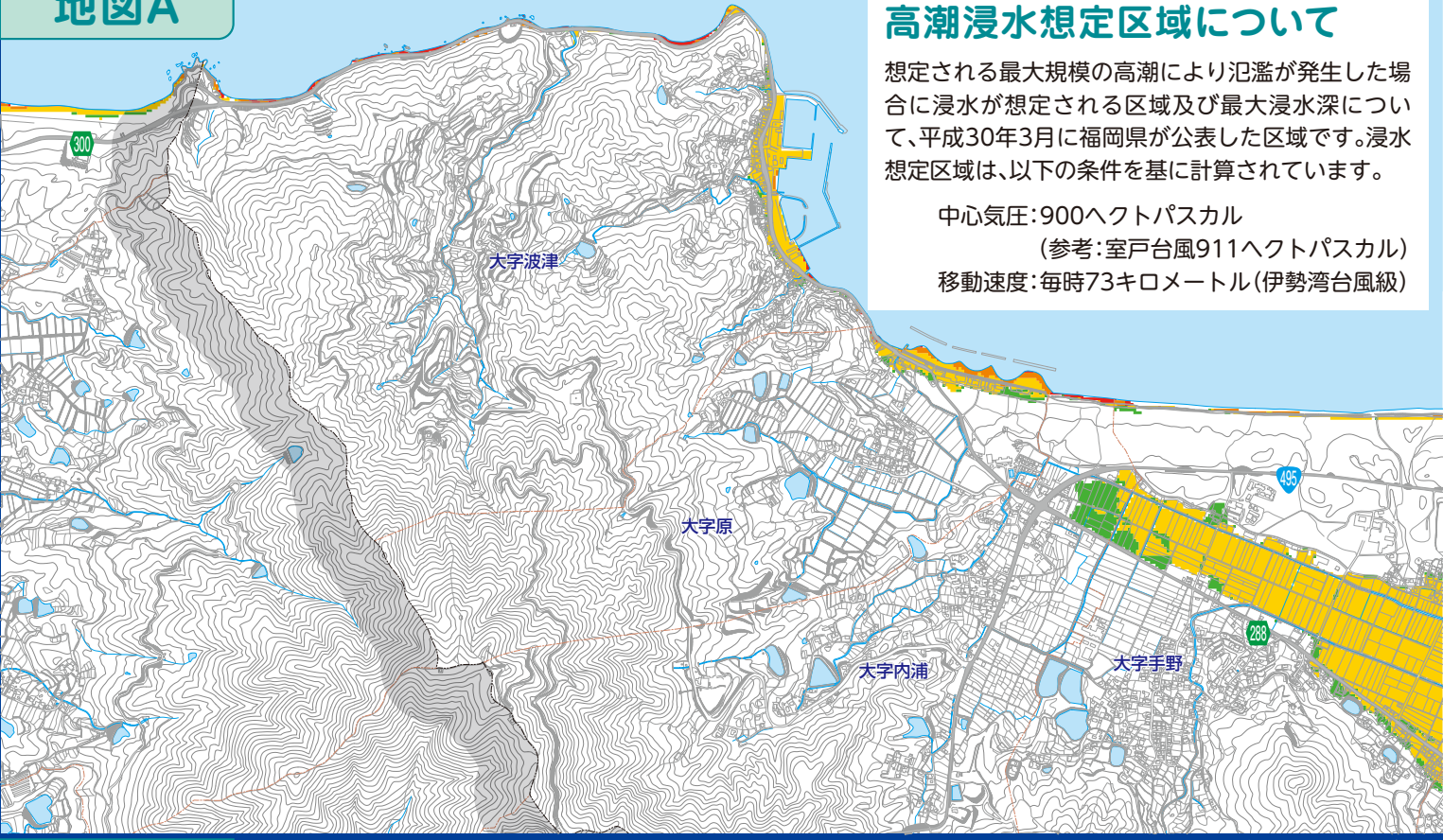
0.5m以上～3m未満

0.5m未満

地図A

地図B

地図A

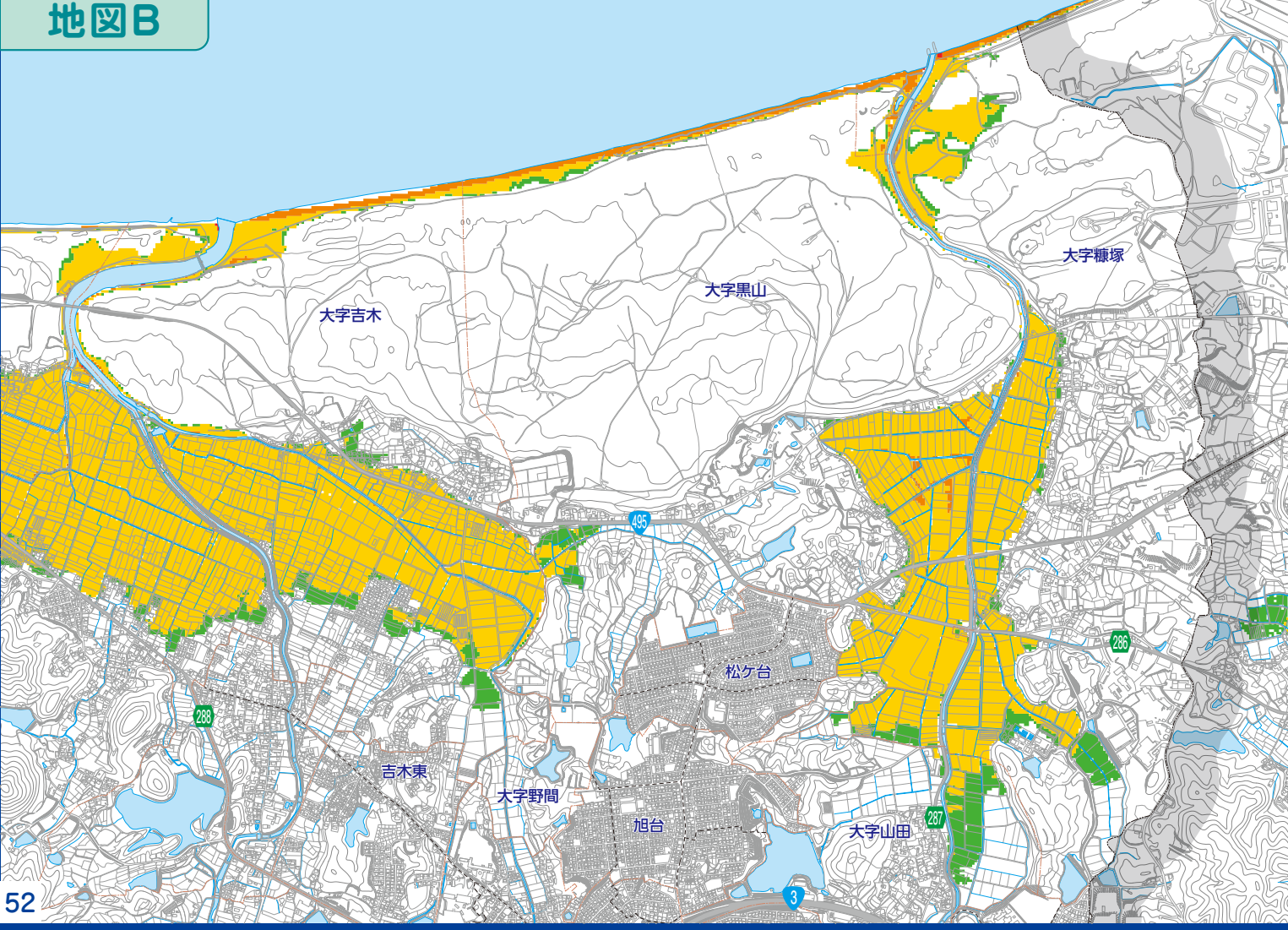


高潮浸水想定区域について

想定される最大規模の高潮により氾濫が発生した場合に浸水が想定される区域及び最大浸水深について、平成30年3月に福岡県が公表した区域です。浸水想定区域は、以下の条件を基に計算されています。

中心気圧:900ヘクトパスカル
(参考:室戸台風911ヘクトパスカル)
移動速度:毎時73キロメートル(伊勢湾台風級)

地図B



津波ハザードマップ

凡例

3

国道

288

県道

基準水位

5m以上～10m未満

3m以上～5m未満

0.5m以上～3m未満

0.5m未満

地図A

地図B

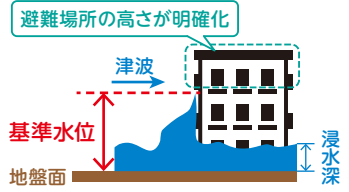
地図A



※地震が発生したら速やかに海や川から離れる方向に逃げましょう!!

津波災害警戒区域(基準水位)について

最大クラスの津波が発生した場合に、住民等の生命・身体に危害が生ずるおそれがある区域として設定された津波浸水想定区域をもとに、津波が建物に衝突した際の水位の上昇を考慮したものが津波災害警戒区域(基準水位)であり、平成30年3月に福岡県が公表しました。ただし、これよりも大きな津波が発生しないというものではなく、局地的な地形や建造物により、浸水域外でも浸水が発生したり、水位がさらに大きくなる場合もあります。



地図B



※地震が発生したら速やかに海や川から離れる方向に逃げましょう!!

地震ハザードマップ

凡例

3

国道

288

県道

町役場

学校

災害凡例

地震

震度4の地域

震度5弱の地域

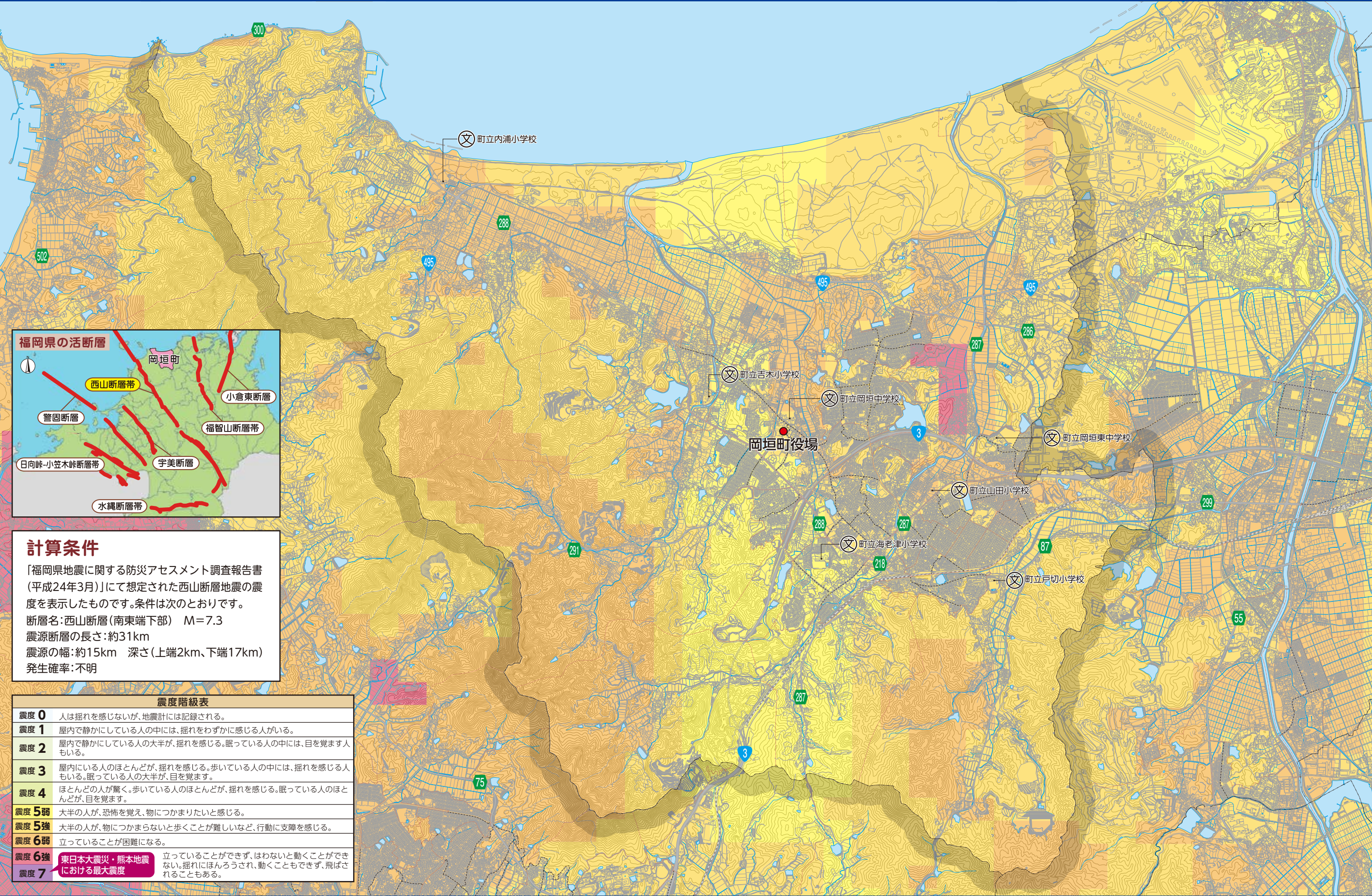
震度5強の地域

震度6弱の地域

震度6強の地域

1:35,000

0500m1km



計算条件

「福岡県地震に関する防災アセスメント調査報告書 (平成24年3月)」にて想定された西山断層地震の震度を表示したものです。条件は次のとおりです。

断層名:西山断層 (南東端下部) M=7.3
震源断層の長さ:約31km
震源の幅:約15km 深さ(上端2km、下端17km)
発生確率:不明

震度階級表	
震度 0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。
震度 1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がある。
震度 2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。
震度 3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる。眠っている人の大半が、目を覚ます。
震度 4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。
震度 5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
震度 5強	大半の人が、物につかまらなと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。
震度 6弱	立っていることが困難になる。
震度 6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。
震度 7	東日本大震災・熊本地震における最大震度